



弘前大学産婦人科研修の魅力



内田 苑佳 産科婦人科 病院助手

2018年3月 弘前大学卒

産婦人科専門研修プログラム 2020年度開始

私が産婦人科医を目指したきっかけは、高校生時に地元である青森県上十三地域において産科医不足が問題となっていたことでした。県内産科医療に対するニーズを感じたことと学問的な面白さから、気がついたら自然と産婦人科医を志していました。弘前大学卒業後はむつ総合病院で臨床研修を行い、弘前大学産科婦人科学教室に入室しました。

弘前大学産婦人科は、優しい男性医師とパワフルな女医さんで構成されており、男女比はおおよそ4:6です。関連病院で勤務する総教室員は50人強ですので、都会と比較すると大分マンパワーは劣りますが、その分若手医師への指導は熱心で手厚いです。当研修プログラムでは、大学病院で行う専門性の高い医療（周産期・腫瘍・生殖）の他に市中病院における地域医療も必須となっており、産婦人科領域における必須知識や手技を満遍なく学ぶことが出来ます。近年、医師の働き方が注目されるようになって来ておりますが、当教室においても育児中の当直軽減や男性医師の育休取得、タスクシフティングなど様々対応しております。

産婦人科診療はやりがい・希望に溢れています。是非、私たちと一緒に働きましょう！



談笑しながら超音波検査中



外来での様子